



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月19日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 サッポロドラッグストア
 コード番号 2786 URL <http://www.sapporo-drug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富山 睦浩
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高野 徹朗
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月22日 配当支払開始予定日 平成26年10月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 011-771-8100
 平成26年10月16日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年2月16日～平成26年8月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	26,561	9.0	453	△13.2	451	△13.1	294	△4.1
26年2月期第2四半期	24,370	3.4	522	△8.4	519	△7.4	306	3.8

(注)包括利益 27年2月期第2四半期 294百万円 (△4.2%) 26年2月期第2四半期 307百万円 (3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	76.30	—
26年2月期第2四半期	79.57	—

(注)平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	25,391		5,386			21.1
26年2月期	22,702		5,167			22.7

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 5,346百万円 26年2月期 5,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年2月期	—	5.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	25.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年2月16日～平成27年2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,550	10.0	1,040	2.4	1,040	3.4	620	1.6	160.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社リージョナルマーケティング、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	4,002,000 株	26年2月期	4,002,000 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	147,345 株	26年2月期	147,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	3,854,655 株	26年2月期2Q	3,854,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
 ・当社は平成26年10月16日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年2月16日～平成26年8月15日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策を背景として、企業収益や雇用環境は改善傾向を強めております。また、消費税増税前には駆け込み需要にともなう個人消費の増加も見られました。

しかしながら、4月以降は増税に伴い消費マインドは低調に推移し、先行きはなお不透明な状況となっております。

ドラッグストア業界におきましても、消費者の節約志向と小売業全体での業種・業態を超えた激しい競争など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「健康で明るい社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、その他事業を展開しており、当第2四半期連結累計期間におきましては、ドラッグストア4店舗を新たに出店する一方、経営効率化の観点からドラッグストア2店舗を閉店し、平成26年8月15日現在の店舗数は145店舗(ドラッグストア135店舗、調剤薬局10店舗)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(ドラッグストア事業)

ドラッグストア事業におきましては、お客さまに選ばれる店づくりの一環として、笑顔あふれる接客を行うことを目的とする「スマイルレジプロジェクト」を推進し、POSレジシステムのオペレーション効率化に向けたシステム改修とお客さまに満足いただけるサービスを提供するための従業員教育を積極的に取り組みました。

販売面では、消費税増税前の駆け込み需要を取込むための積極的なポイント販促に加え、エブリデー・セイム・ロープライスをお客さまに認知していただくため、店頭に設置する「サツドラマンスリー」(月間特売価格商品や健康・美容に役立つ専門情報などを掲載した販促用冊子)から特におすすめの商品を抜粋した「サツドラマンスリー通信」をチラシとして広告し、毎日安心してお買い物いただけることによる、新規顧客の増加とリピーターの確保に努めました。

コスト面では、ローコスト運営を推進するため、既存店でのフード売場標準化に向けた改装を20店舗で実施する一方、当社グループが今後とも継続的に成長し続けるため、新規出店にかかわる投資を行うほか、さらなる新規出店に備え新卒者を中心とする積極的な人員の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は255億82百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は3億65百万円(同17.4%減)となりました。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、処方せん枚数の増加等の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は8億91百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は68百万円(同26.2%増)となりました。

(その他事業)

不動産賃貸業が主たる事業である、その他事業は、当第2四半期連結累計期間の売上高は86百万円(前年同期比18.2%増)、営業利益は18百万円(同25.3%減)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は265億61百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は4億53百万円(同13.2%減)、経常利益は4億51百万円(同13.1%減)、四半期純利益は2億94百万円(同4.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、253億91百万円となり、前連結会計年度末に比べて26億89百万円増加となりました。その主な要因は、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったことによる反動などにより売掛金が1億79百万円減少したものの、新規出店などにより商品が5億34百万円、建物及び構築物(純額)が5億86百万円、土地が6億5百万円、有形固定資産のその他(純額)が4億63百万円、投資その他の資産が1億98百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、200億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億71百万円増加となりました。その主な要因は、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったことによる反動などにより、買掛金が7億16百万円減少したものの、短期借入金が18億50百万円、1年内返済予定の長期借入金が3億68百万円、長期借入金が4億81百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、53億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億18百万円増加となりました。その主な要因は、配当金の支払により96百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により2億94百万円、少数株主持分が20百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1億36百万円増加し、12億71百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の支出額は△3億33百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ14億20百万円減少しました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間に比べ、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったことによる反動などにより、売上債権の減少額が2億29百万円増加したものの、仕入債務の減少額が17億63百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出額は△20億93百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ12億56百万円増加しました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間に比べ、新規出店などにより有形固定資産の取得による支出が10億38百万円、無形固定資産の取得による支出が91百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の獲得額は25億63百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ25億22百万円増加しました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間に比べ、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったことによる反動などにより短期借入金の純増額が17億50百万円、新規出店などにより長期借入による収入が6億円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月20日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結累計期間において、株式会社リージョナルマーケティングが新たに特定子会社になっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,135,321	1,271,627
売掛金	664,871	485,005
商品	5,684,932	6,219,698
貯蔵品	23,971	25,014
繰延税金資産	186,048	186,048
その他	736,506	935,907
流動資産合計	8,431,652	9,123,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,673,468	4,260,343
土地	4,937,036	5,542,276
その他(純額)	1,567,716	2,030,862
有形固定資産合計	10,178,221	11,833,483
無形固定資産	156,942	213,359
投資その他の資産		
その他	3,950,441	4,143,314
貸倒引当金	△17,500	△11,500
投資その他の資産合計	3,932,941	4,131,814
固定資産合計	14,268,105	16,178,657
繰延資産	2,400	89,676
資産合計	22,702,157	25,391,636
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,447,352	5,730,539
短期借入金	-	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	2,018,260	2,386,824
未払法人税等	169,109	169,717
賞与引当金	208,398	236,435
ポイント引当金	134,800	-
その他	1,155,931	1,569,249
流動負債合計	10,133,851	11,942,765
固定負債		
長期借入金	6,101,245	6,582,629
退職給付引当金	205,357	219,358
役員退職慰労引当金	79,791	79,791
資産除去債務	183,009	218,363
その他	830,950	962,681
固定負債合計	7,400,353	8,062,824
負債合計	17,534,205	20,005,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,589	439,589
資本剰余金	481,788	481,788
利益剰余金	4,283,738	4,481,465
自己株式	△60,592	△60,592
株主資本合計	5,144,525	5,342,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,554	3,881
その他の包括利益累計額合計	3,554	3,881
少数株主持分	19,871	39,913
純資産合計	5,167,951	5,386,046
負債純資産合計	22,702,157	25,391,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
売上高	24,370,165	26,561,138
売上原価	18,752,006	20,257,558
売上総利益	5,618,158	6,303,580
販売費及び一般管理費	5,095,920	5,850,341
営業利益	522,238	453,238
営業外収益		
受取利息	757	1,357
受取配当金	907	917
受取手数料	8,215	5,659
固定資産受贈益	21,246	28,556
その他	23,822	19,764
営業外収益合計	54,950	56,255
営業外費用		
支払利息	48,250	49,916
その他	9,022	7,777
営業外費用合計	57,273	57,694
経常利益	519,915	451,799
特別損失		
店舗閉鎖損失	5,000	-
固定資産除却損	-	1,856
その他	-	3,742
特別損失合計	5,000	5,598
税金等調整前四半期純利益	514,915	446,200
法人税等合計	208,180	152,105
少数株主損益調整前四半期純利益	306,735	294,095
少数株主利益	-	2
四半期純利益	306,735	294,093

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	306,735	294,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	742	327
その他の包括利益合計	742	327
四半期包括利益	307,477	294,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,477	294,420
少数株主に係る四半期包括利益	-	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	514,915	446,200
減価償却費	293,522	343,965
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△6,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,903	28,037
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,068	14,001
ポイント引当金の増減額(△は減少)	8,000	△134,800
受取利息及び受取配当金	△1,665	△2,274
固定資産受贈益	△21,246	△28,556
支払利息	48,250	49,916
固定資産除却損	-	1,856
売上債権の増減額(△は増加)	△49,691	179,866
たな卸資産の増減額(△は増加)	△376,533	△535,809
仕入債務の増減額(△は減少)	1,047,008	△716,813
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,480	7,376
その他	△35,482	219,299
小計	1,445,568	△133,734
利息及び配当金の受取額	1,665	2,091
利息の支払額	△49,963	△51,044
法人税等の支払額	△309,888	△150,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,087,381	△333,441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△100	-
有形固定資産の取得による支出	△715,012	△1,753,361
無形固定資産の取得による支出	△17,295	△109,022
敷金及び保証金の差入による支出	△252,279	△242,129
敷金及び保証金の回収による収入	90,283	75,124
預り保証金の受入による収入	59,500	39,106
預り保証金の返還による支出	△2,219	△3,956
繰延資産の取得による支出	-	△87,276
その他	-	△11,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△837,123	△2,093,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	1,850,000
長期借入れによる収入	1,300,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,200,414	△1,050,052
配当金の支払額	△89,793	△96,155
少数株主からの払込みによる収入	-	20,000
その他	△69,490	△60,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,302	2,563,218
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	290,560	136,305
現金及び現金同等物の期首残高	911,936	1,135,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,202,497	1,271,627

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年2月16日 至 平成25年8月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,417,355	879,536	24,296,891	73,273	24,370,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,417,355	879,536	24,296,891	73,273	24,370,165
セグメント利益	442,307	54,605	496,912	25,325	522,238

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	496,912
「その他」の区分の利益	25,325
四半期連結損益計算書の営業利益	522,238

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年2月16日 至 平成26年8月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,582,557	891,972	26,474,530	86,608	26,561,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	6,150	6,150
計	25,582,557	891,972	26,474,530	92,758	26,567,288
セグメント利益	365,436	68,888	434,325	18,912	453,238

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	434,325
「その他」の区分の利益	18,912
四半期連結損益計算書の営業利益	453,238